

医療通訳にできる 20のこと ~医療従事者にとって 医療通訳とは何か?~

日本語がうまくしゃべれない外国人の患者が診察室に訪れた時、あなたはどうしていますか？医療通訳がいてくれたら、と思ったことはありませんか？このセミナーでは、医療通訳を活用している医師、医療通訳者、NGOが取り組みの現状を報告します。そして、医療通訳のメリットや活用の仕方について、みなさんと理解を深めたいと思います。

講師紹介

(詳細は裏面を
ご覧ください)



沢田貴志
(シェア副代表理事)



高柳喜代子
(結核予防会総合健診推進センター医師)



マラ・スミタ・マンジャリ
(シェア医療通訳)

開催日

2017年 **11月4日(土)** 14:00~16:30 ※受付開始 13時40分

会場

台東区立環境ふれあい館ひまわり
第1・2集会室

東京都台東区蔵前 4-14-6

<https://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/kankyo/himawari/>

都営浅草線「蔵前駅」下車徒歩3分

都営大江戸線「蔵前駅」下車徒歩7分



対象者

外国人医療や医療通訳に関心を持つ医療従事者等 70名程度

一般の方も
歓迎します

資料代

1,000円 *当日お支払い下さい

お申込み

こちらの URL からお願いします

<http://bit.ly/2jMG1YZ>

主催・問合せ

特定非営利活動法人 シェア = 国際保健協力市民の会

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 5階

Tel: 03-5807-7581 (担当: 廣野)

E-mail: info@share.or.jp <http://share.or.jp>

■ プログラム

*プログラムの詳細は、変更の可能性があることをご了承下さい

時間	内容	講師名
13:40～	受付開始	
14:00～14:05	開会、オリエンテーション	
14:05～14:35	外国人の医療と言葉の問題の現状	沢田 貴志
14:35～15:05	チーム医療としての医療通訳の活用	高柳 喜代子
15:05～15:15	休憩	
15:15～15:45	医療通訳としての活動を通じて	マラ・スミタ・マンジャリ
15:45～16:05	通訳体験をしてみよう！（ロールプレイ）	
16:05～16:25	質疑応答	
16:25～16:30	閉会（終了後、懇親会を予定しています）	

■ 講師紹介

沢田貴志

シェア副代表理事・港町診療所所長、医師、公衆衛生士、タイ大使館医療アドバイザー。フィリピンでスラムや被災地の医療を経験。帰国後、港町診療所とシェアで外国人の医療相談に参画。国内外のHIV陽性者支援や、在日外国人の医療支援活動に従事。東京都の結核支援員など医療通訳ボランティアの育成にも力を入れている。

高柳喜代子

公益財団法人 結核予防会総合健診推進センター 呼吸器科 医師。結核予防会外国人相談室のスタッフ、結核研究所対策支援部のスタッフとともに、外国出生者の結核治療と支援を行うかたわら、2014年からは高田馬場さくらクリニックでも各国語の医療通訳とともに内科の診療に携わっている。

マラ・スミタ・マンジャリ

シェア医療通訳。2002年来日。シェアが東京都委託で実施している結核患者への通訳派遣事業にネパール語／ヒンディ語通訳として従事。自治体の外国人相談窓口相談や、外国籍児童の日本語指導にも携わっている。日本語能力検定1級。

このセミナーは2016年にご協力いただいたクラウドファンด์をもとに実施しています。



（特活）シェア＝国際保健協力市民の会

シェアは健康で平和な世界をすべての人とわかちあう（シェア）のために、医師・看護師・学生・社会人等が中心となって1983年に結成された国際保健NGOです。カンボジア、東ティモール、日本で保健医療活動を行っています。